

別添5

推定交通量及びその算出の基礎を記載した書類

第1. 推定交通量

全国路線網の年度別推定交通量は、別表1のとおりである。

第2. 推定交通量算出の基礎

1. 推定方法の概要

交通量の推定方法は以下のとおりである。

- (1) 平成17年度全国道路街路交通情勢調査に基づき現在のゾーン間交通量を国土交通省が作成。(現在OD表の作成)
- (2) 現況交通量データ及び将来社会経済フレーム等に基づき、国土交通省が将来(H42年)のゾーン毎の発生・集中交通量を予測し、将来道路網等を想定して将来のゾーン間交通量(将来OD表)を作成。国土交通省が作成したゾーンごとの現況及び将来(H42年)の発生・集中交通量を基に、各年度(H23~H34年)のゾーン別発生・集中交通量を設定する。
(将来発生・集中交通量の算定)
- (3) 設定した各年度の発生・集中交通量を基に、推計年次における高速道路整備による時間短縮効果を考慮して、推計年次におけるゾーン間の交通量分布を予測する。(分布交通量の算定)
- (4) 高速道路料金と、高速道路を利用することによる時間短縮を説明変数とした転換率モデルにより、ODごとに将来高速道路利用交通量を推計する。(転換交通量の算定)
- (5) 開通初年度交通量については、認知不足によると思われる効果発現の遅れが見られることから、過年度の実績に基づき60%の低減率を乗じるものとする。
- (6) 平成35年以降の予測交通量は、前年度の予測交通量に国土交通省が推計した「新たな将来交通需要推計 基本ケース(H20.11)」による全国自動車総走行台キロの伸び率を乗じて算定。

2. 推定交通量の算定

(1) 現在 OD 表の作成

平成 17 年度全国道路街路交通情勢調査に基づき国土交通省が作成した現在 OD 表を使用。

(2) 将来発生・集中交通量の算定

国土交通省作成の現在 OD 表及び「新たな将来交通需要推計 基本ケース（H20.11）」に基づく将来（H42 年）OD 表を基に、各年度（H23～H34）のゾーン別発生集中交通量を設定。

(3) 分布交通量の算定

各年度の道路網から高速道路整備による時間短縮効果を考慮した経済距離を算出し、複数年次における時系列変化を反映したグラビティモデル（時系列モデル）により OD 間の分布交通量を算出する。

$$X_t^{rs} = \left\{ \frac{\sum_k A_0^k \cdot d_0^{rk}^{-\gamma}}{\sum_k A_t^k \cdot d_t^{rk}^{-\gamma}} \right\}^\theta \left(\frac{G_t^r}{G_0^r} \cdot \frac{A_t^s}{A_0^s} \right)^\beta \left(\frac{d_t^{rs}}{d_0^{rs}} \right)^{-\gamma} X_0^{rs}$$

G、A: 発生交通量、集中交通量
X^{rs}: ゾーン間rs間の分布交通量
d^{rs}: ゾーン間rs間の距離
0, t: 現在、t年次
 β 、 γ 、 θ : パラメータ

(4) 各年度のOD表を基に、転換率式を用いて高速道路への転換交通量を求めた。

イ 転換率式

高速道路への転換交通量は、一般道路ルート及び高速道路ルートのそれぞれについて最小時間ルートを求め、これらのルート間における（料金／時間差）等から求めた転換率を対象となるOD量に乘じることにより、高速道路への転換交通量を算出した。

$$P = \frac{1}{1 + \alpha(X/S)^\beta / T^\gamma}$$

P: 転換率
X: 高速道路利用ルートの一般道路利用ルートに対する料金/時間差(円/分)
T: 時間差(分)
S: シフト率
 α 、 β 、 γ はパラメータ

この算出において使用したパラメータは、平成17年度全国道路街路交通情勢調査の結果から算出。

シフト率は、基準年次に対する推計年次の料金負担力を評価する指標であり、後述する将来GDPを基本に設定した。

ロ 複数の高速道路ルート（利用ICペア）への配分

求められた高速道路への転換交通量を、一般化時間最小ルートサーチ法により求めた複数の高速道路ルート（利用ICペア）に効用関数を用いた確率モデルによる分担率を用いて配分した。一般化時間最小ルートサーチ法とは、複数の時間評価値（料金を時間に換算する係数）を設定することにより、各々の時間評価値毎に一般化時間が最小となるルートを求める方法で、下式で表せる。

$$T = t + F/\omega$$

T : 一般化時間(分)

t : OD間の所要時間(分)

F : 料金(円)

ω : 時間評価値(円/分)

$$P_{ICP,i} = \frac{e^{V_{ICP,i}}}{\sum_i e^{V_{ICP,i}}}$$

$P_{ICP,i}$: 高速道路iインターペア利用ルートの分担率

$V_{ICP,i}$: 高速道路iインターペア利用ルートの効用

e : 自然対数の底

$$V_{ICP,i} = a \cdot F_i + b \cdot T_i$$

$V_{ICP,i}$: 高速道路iインターペア利用ルートの効用

F_i : 高速道路iインターペア利用ルートの料金(円)

T_i : 高速道路iインターペア利用ルートの所要時間(分)

a, b: パラメータ

(5) 料金割引による誘発交通量について、割引の有無による交通動向の変化を過去の傾向などから推定し、上記（4）で算出された転換交通量に加算する。

第3. 推定交通量算出のための設定条件

1. 基礎データ

(1) 現在OD表及び将来OD表

平成17年度全国道路街路交通情勢調査結果に基づき国土交通省が作成した現在OD表及び「新たな将来交通需要推計 基本ケース（H20.11）」に基づく将来（H42年）OD表を用いた。

(2) 経済指標等

転換率による高速道路利用交通量算定に用いる将来GDPは、平成23年度までは、「平成23年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度～新成長戦略実現に向けたステップ3～～」（H23.1.24閣議決定）による見通し値を用いた。平成24年度以降は、国土交通省が算出した「新たな将来交通需要推計 基本ケース（H20.11）」において前提としている予測伸び率を用いた。

年度	H22	H23	H24	H25～H32	H33～
GDPの伸び率（%）	1.1	1.0	1.5	2.0	1.5

(3) 全国将来自動車交通需要

国土交通省が算定した「新たな将来交通需要推計 基本ケース（H20.11）」を用いた。

年度	H17	H32	H42	H62※
走行台 [#] （全車） (10億台 [#] /年)	769	756	749	643

※H62は基本ケースの推計手法を用いた参考値

(4) 道路整備状況

各年度の推計にあたり、新規開通道路の完成予定時期を以下のとおり設定した。

イ 会社が新設又は改築を行う高速道路

別表 2 のとおり。

ロ その他の高速道路

別表 3 のとおり。

ハ 一般道路等

平成 32 年度までに完成することが見込まれている道路については、その完成予定時期を基本とした。

現在事業中の道路で完成予定時期が明らかでないもの及び事業着手されていないものの国土交通省が調査している道路で、将来高速道路の交通量に大きな影響を及ぼす道路については、概ね 10 年後に完成するものとし平成 32 年度の完成と想定した。

なお、完成予定時期は、現時点での用地買収状況や工事進捗状況等を踏まえて設定したものであり、今後の用地取得の状況等を踏まえて変更の可能性がある。

別表1 年度別推定交通量

年度	交通量 (億台キロ)	年度	交通量 (億台キロ)	年度	交通量 (億台キロ)
平成23年度	921	平成37年度	887	平成51年度	829
平成24年度	917	平成38年度	886	平成52年度	820
平成25年度	931	平成39年度	888	平成53年度	814
平成26年度	847	平成40年度	885	平成54年度	808
平成27年度	860	平成41年度	883	平成55年度	805
平成28年度	869	平成42年度	883	平成56年度	796
平成29年度	872	平成43年度	880	平成57年度	789
平成30年度	874	平成44年度	871	平成58年度	783
平成31年度	882	平成45年度	864	平成59年度	780
平成32年度	886	平成46年度	858	平成60年度	771
平成33年度	886	平成47年度	855	平成61年度	766
平成34年度	889	平成48年度	846	平成62年度	313
平成35年度	892	平成49年度	840		
平成36年度	888	平成50年度	834		

別表2 会社が新設又は改築を行う高速道路（東日本高速道路株式会社）

《新設区間》【高速自動車国道】

路線名	区間	延長(km)	完成予定年度	備考
北海道縦貫自動車道函館名寄線	大沼公園IC～森IC	9.7	H24	
	森IC～落部IC	20.2	H23.11	
北海道横断自動車道黒松内釧路線	余市IC～小樽JCT	23.4	H30	
	夕張IC～占冠IC	34.5	H23.11	
東北中央自動車道相馬尾花沢線	南陽高畠～山形上山	24.4	H30	
常磐自動車道	常磐富岡IC～相馬IC	47.1	H24.3	
	相馬IC～新地IC	8.5	H26	
	新地IC～山元IC	14.8	H26	
東関東自動車道水戸線	三郷南IC～高谷JCT	15.5	H27	
	鉾田IC～茨城空港北IC	8.8	H27	
	計	206.9		

(未供用区間の連絡等施設名については仮称)

《新設区間》【一般有料道路】

路線名	区間	延長(km)	完成予定年度	備考
仙台北部道路	富谷JCT～富谷IC	1.7	H24	
首都圏中央連絡自動車道(横浜横須賀道路)	釜利谷JCT～戸塚IC	8.7	H27	
	桶川北本IC～白岡菖蒲IC	10.8	H26	
	白岡菖蒲IC～久喜白岡JCT	3.3	H23.5	
	(東京湾横断・木更津東金道路) 東金IC・JCT～茂原長南IC	21.6	H24	
	茂原長南IC～木更津東IC	21.3	H24	
	計	67.4		

(未供用区間の連絡等施設名については仮称)

※完成予定年度は、現時点での用地買収状況や工事進捗状況等を踏まえて設定したものである。よって、今後の用地取得の状況等を踏まえて変更の可能性がある。

《四車化・拡幅等》【一般有料道路】

路線名	区間	延長 (km)	完成予定 年度	備考
横浜横須賀道路 金沢支線	釜利谷JCT～並木IC	4.2	H27	
千葉東金道路	東金IC・JCT～松尾横芝IC	15.7	H32	
	計	19.9		

《IC・JCT》【高速自動車国道】

路線名	箇所	延長 (km)	完成予定 年度	備考
北海道縦貫自動車道 函館名寄線	新千歳空港IC	—	H25	新設
北海道横断自動車道 黒松内北見線	本別JCT	—	H32	改築(フル化)
	足寄IC	—	H32	改築(フル化)
東北縦貫自動車道 弘前線	久喜白岡JCT	—	H23.5	新設(西ハーフ)
	久喜白岡JCT	—	H24	改築(フル化)
	福島JCT	—	H28	新設
	小坂JCT	—	H25	新設
八戸線	八戸JCT	—	H25	改築(フル化)
東北横断自動車道 酒田線	鶴岡JCT	—	H24.3	新設
	酒田中央JCT	—	H26	新設
	釜石秋田線 東和IC	—	H24	改築(フル化)
関越自動車道 上越線	佐久小諸JCT	—	H23.3	新設
東関東自動車道 水戸線	三郷第二IC	—	H27	新設
	谷津船橋IC	—	H24	新設
	酒々井IC	—	H24	新設
	大栄JCT	—	H24	新設(西ハーフ)
	大栄JCT	—	H28	改築(フル化)

(未供用区間の連絡等施設名については仮称)

《IC・JCT》【一般有料道路】

路線名	箇所	延長 (km)	完成予定 年度	備考
仙台東部道路	仙台港IC	—	H24	新設
第三京浜道路	野川IC	—	H28	新設

(未供用区間の連絡等施設名については仮称)

*完成予定年度は、現時点での用地買収状況や工事進捗状況等を踏まえて設定したものである。よって、今後の用地取得の状況等を踏まえて変更の可能性がある。

別表3 その他の高速道路（東日本高速道路株式会社）

路線名	区間	延長 (km)	完成予定 年度	備考
都道首都高速晴海線	晴海仮出入口～豊洲出入口	1.2	H26	(首都高速道路株)
都道首都高速品川目黒線	大橋JCT～大井JCT	9.4	H25	(首都高速道路株)
横浜市道高速横浜環状北線	港北JCT～生麦JCT	8.2	H28	(首都高速道路株)

(未供用区間の連絡等施設名については仮称)

※完成予定年度は、現時点での用地買収状況や工事進捗状況等を踏まえて設定したものである。よって、今後の用地取得の状況等を踏まえて変更の可能性がある。

別表2 会社が新築又は改築を行う高速道路（中日本高速道路株式会社）

《新設区間》【高速自動車国道】

路線名	区間	延長 (km)	完成予定 年度	備考
第二東海自動車道 横浜名古屋線	海老名南JCT～厚木南IC	1.5	H28	
	厚木南IC～伊勢原北IC	6.7	H30	
	伊勢原北IC～秦野IC	12.8	H32	
	秦野IC～御殿場JCT	32.3	H32	
	御殿場JCT～長泉沼津IC	13.2	H24	
	長泉沼津IC～引佐JCT	131.5	H24	
	吉原JCT～尾羽JCT	—	H24	
	引佐JCT～三ヶ日JCT	—	H24	
	引佐JCT～豊田東JCT	55.2	H26	
中部横断自動車道	吉原JCT～富沢IC	20.7	H29	
	六郷IC～増穂IC	9.3	H28	
近畿自動車道	名古屋亀山線 名古屋南JCT～高針JCT	12.7	H23.3	
	名古屋神戸線 四日市JCT～四日市北JCT	4.4	H27	
		8.2	H30	
		15.2	H30	
	尾鷲多気線 紀伊長島IC～紀勢大内山IC	10.3	H24	
	敦賀線 小浜IC～敦賀JCT	39.0	H26	
	計	373.0		

(未供用区間の連絡等施設名については仮称)

※完成予定年度は、現時点での用地買収状況や工事進捗状況等を踏まえて設定したものである。よって、今後の用地取得の状況等を踏まえて変更の可能性がある。

《新設区間》【一般有料道路】

路線名	区 間	延長 (km)	完成予定 年度	備 考
一般国道1号(新湘南バイパス)	茅ヶ崎海岸IC～大磯IC	5.6	H32	
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)	海老名IC～相模原IC	10.1	H24	
	相模原IC～八王子南IC	14.8	H24	
	八王子南IC～八王子JCT	2.0	H23	
	西久保JCT～海老名南JCT	7.9	H24	
	計	40.4		

(未供用区間の連絡等施設名については仮称)

※完成予定年度は、現時点での用地買収状況や工事進捗状況等を踏まえて設定したものである。よって、今後の用地取得の状況等を踏まえて変更の可能性がある。

《追加IC》【高速自動車国道】

路線名	箇 所	延長 (km)	完成予定 年度	備 考
第一 東 海 自 動 車 道	海老名JCT～海老名南JCT	1.5	H24	新設
中 央 自 動 車 道 富士吉田線	高井戸IC	-	H32	新設
	元八王子IC	-	H32	新設
	八王子JCT	-	H23	改築(フル化)
	都留IC	-	H23	改築(フル化)
中 央 自 動 車 道	西 宮 線 養老JCT	-	H24	新設(北ハーフ)
	養老JCT	-	H27	改築(フル化)
	長 野 線 松本JCT	-	H32	新設
第一 東 海 自 動 車 道	日進IC	-	H30	改築(フル化)
第二 東 海 自 動 車 道 横浜名古屋線	東海JCT	-	H23	新設
東 海 北 陸 自 動 車 道	西尾張IC	-	H25	新設
北 陸 自 動 車 道	福井北JCT	-	H32	新設
	白山IC	-	H23	新設
	箇所数	-	13	

(未供用区間の連絡等施設名については仮称)

※完成予定年度は、現時点での用地買収状況や工事進捗状況等を踏まえて設定したものである。よって、今後の用地取得の状況等を踏まえて変更の可能性がある。

別表3 その他の高速道路（中日本高速道路株式会社）

路線名	区間	延長 (km)	完成予定 年度	備考
都道首都高速晴海線	晴海仮出入口～豊洲出入口	1.2	H26	(首都高速道路(株))
都道首都高速品川目黒線	大橋JCT～大井JCT	9.4	H25	(首都高速道路(株))
横浜市道高速横浜環状北線	港北JCT～生麦JCT	8.2	H28	(首都高速道路(株))

(未供用区間の連絡等施設名については仮称)

※完成予定年度は、現時点での用地買収状況や工事進捗状況等を踏まえて設定したものである。よって、今後の用地取得の状況等を踏まえて変更の可能性がある。

別表2 会社が新設又は改築を行う高速道路（西日本高速道路株式会社）

《新設区間》【高速自動車国道】

路線名		区間名	延長 (km)	完成予定 年月	備考	
近畿自動車道	名古屋神戸線	大津JCT～城陽IC	25.1	－		
		城陽IC～八幡IC	3.5	H28		
		八幡IC～高槻第一JCT	10.7	－		
		高槻第一JCT～箕面IC	18.0	H30		
		箕面IC～神戸JCT	22.5	H30		
	敦賀線	小浜西IC～小浜IC	11.5	H23		
中国横断自動車道	姫路鳥取線	播磨新宮IC～山崎JCT	11.4	H32		
四国横断自動車道	阿南四万十線	徳島東IC～徳島JCT	4.3	H31		
		徳島IC～徳島JCT～鳴門JCT	10.9	H26		
東九州自動車道		苅田北九州空港IC～行橋IC	8.6	H25		
		行橋IC～豊津IC	7.4	H26		
		椎田南IC～宇佐IC	28.3	H28		
		日向IC～都農IC	20.0	H26		
		都農IC～高鍋IC	12.9	H24		
		計	195.1			

(未供用区間の連絡等施設名については仮称)

※完成予定年度は、現時点での用地買収状況や工事進捗状況等を踏まえて設定したものである。よって、今後の用地取得の状況等を踏まえて変更の可能性がある。

近畿自動車道名古屋神戸線 大津JCT～城陽IC及び八幡IC～高槻第一JCTは、主要な周辺ネットワークの供用後における交通状況等を見て、改めてその着工について判断することとし、それまでは着工しない。

«新設区間»【一般有料道路】

路線名	区間名	延長 (km)	完成予定 年月	備考
京都縦貫自動車道	沓掛IC～大山崎JCT	9.8	H24	
	計	9.8		

(未供用区間の連絡等施設名については仮称)

«四車線化・拡幅等»【高速自動車国道】

路線名	区間名	延長 (km)	完成予定 年月	備考
近畿自動車道	松原那智勝浦線	海南IC～有田IC	9.8	H23.8
	敦賀線	福知山IC～綾部IC	10.2	H32
		綾部PA～舞鶴西IC	4.7	H32
中国横断自動車道	岡山米子線	久世IC～上野PA	3.5	H23
	計	28.2		

(未供用区間の連絡等施設名については仮称)

※完成予定年度は、現時点での用地買収状況や工事進捗状況等を踏まえて設定したものである。よって、今後の用地取得の状況等を踏まえて変更の可能性がある。

《追加IC》【高速自動車国道】

路線名		箇 所	延長 (km)	完成予定 年月	備 考	
中央自動車道	西宮線	栗東東JCT	—	H25	新設	
		京都南JCT	—	H32	改築	
		大山崎JCT	—	H24	改築(フル化)	
近畿自動車道	天理吹田線	大和郡山JCT	—	H25	新設	
		守口JCT	—	H25	新設	
	松原那智勝浦線	和歌山JCT	—	H32	新設	
		南紀田辺IC	—	H32	改築	
	敦賀線	小浜IC	—	H26	改築	
		小浜西IC	—	H23	改築(フル化)	
中国縦貫自動車道		勝央JCT	—	H27	新設	
		三次JCT	—	H24	新設	
		小郡JCT	—	H27	改築	
山陽自動車道	吹田山口線	瀬戸JCT	—	H27	新設	
		五日市JCT	—	H32	改築	
中国横断自動車道	尾道松江線	三刀屋木次IC	—	H23	改築(フル化)	
四国横断自動車道	阿南四万十線	高知IC	—	H32	改築	
	愛南大洲線	西予宇和IC	—	H23	改築(フル化)	
九州縦貫自動車道	鹿児島線	嘉島JCT	—	H25	新設	
	宮崎線	清武JCT	—	H25	改築	
東九州自動車道	佐伯IC	—	H28	改築		

(未供用区間の連絡等施設名については仮称)

※完成予定年度は、現時点での用地買収状況や工事進捗状況等を踏まえて設定したものである。よって、今後の用地取得の状況等を踏まえて変更の可能性がある。

別表3 その他の高速道路（西日本高速道路株式会社）

(1) 阪神高速道路㈱（阪神圏）

路線名	区間・箇所	延長(km)	完成予定年度	備考
大阪市道高速道路淀川左岸線	此花区島屋二丁目～海老江JCT	4.3	H24	
	海老江JCT～豊崎出入路	4.4	H32	
大阪府道高速大和川線	三宝JCT～三宅西出入路	9.1	H26	
	三宅西出入路～三宅JCT	0.6	H24	
大阪府道高速大阪松原線(改築)	松原JCT	—	H26	北西渡り
大阪府道高速大阪守口線(改築)	守口JCT	—	H25	北西・南西渡り

(未供用区間の連絡等施設名については仮称)

※完成予定年度は、現時点での用地買収状況や工事進捗状況等を踏まえて設定したものである。よって、今後の用地取得の状況等を踏まえて変更の可能性がある。